

報道中

200. 在米中 中世 2次
2145 ~ 中世の 現地の 状況
各 報に 各 報に 掲載 される

7/17 2000年 7月 17日 現地 からの 報告
2145 ~ 中世の 現地の 状況
各 報に 各 報に 掲載 される

2機
172-1 (1% 20)

2機
172-1 (1% 20)
2145 ~ 中世の 現地の 状況
各 報に 各 報に 掲載 される



2機
172-1 (1% 20)

イラク復興支援群活動報告

Z()
2000年 7月 17日 現地 からの 報告
2145 ~ 中世の 現地の 状況
各 報に 各 報に 掲載 される

18. 7. 9

イラク復興支援群

2000年 7月 17日 現地 からの 報告
2145 ~ 中世の 現地の 状況
各 報に 各 報に 掲載 される

7/17 2000年 7月 17日 現地 からの 報告
2145 ~ 中世の 現地の 状況
各 報に 各 報に 掲載 される

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

7/17 2000年 7月 17日 現地 からの 報告
2145 ~ 中世の 現地の 状況
各 報に 各 報に 掲載 される

7/17 2000年 7月 17日 現地 からの 報告
2145 ~ 中世の 現地の 状況
各 報に 各 報に 掲載 される

○ 7月9日(1998年7月9日)

- ◎ サマーワ主力
- 人員・武器・装具異状なし
- 警備態勢：[REDACTED]
- 人道復興支援関連
 - ◆ 医療
 - 外務省等との調整
 - ◆ 学校等の公共施設の復旧・整備
 - ・ 学校の改修：
 - 2カ所(サマーワ、ルメイサ)での役務作業
 - ・ 道路の改修：
 - 4カ所(サマーワ×4)での役務作業
 - ・ PHCの改修：
 - 2カ所(サマーワ×2)での役務作業
 - ・ 給水関連施設の改修：
 - 3カ所(サマーワ×2、フルカ)での役務作業

○ 7月9日(1998年7月9日)

- 撤収業務関連
 - ・ 後送コンテナ発送(36本)
 - ・ コンテナ詰め(実施12本/計画4本)
 - ・ コンテナ搭載(実施16本/計画16本)別紙第1「撤収業務」
- 宿営地関連施設の整備
 - ・ 宿営地散水
 - ・ ゴミ回収
 - ・ 尿尿汲み取り
 - ・ Tレックス
 - ・ 有線・電話機撤収
 - ・ 環境維持作業
- 7月9日現在の雇用人員
計444名(累計:486,518名)※ 細部別表「雇用者」参照
- その他(特記事項)
 - ・ 群長が、サマーワ総合病院長及び特殊疾患クリニック長に対するODA供与機材技術指導行事参加
別紙第1「群長、ODA供与機材技術指導行事参加」
 - ・ 供与RO浄水機により給水車延べ17両に対し約244t(約54,222人分)が配水された。
7月9日まで計約83,640t(約18,586,666人分)配水(4.5リットル/人・日換算)

後送業務の進捗状況(7月9日)

- ◎ クウェート(後送業務隊、クウェート分遣班)
 - 後送業務隊
 - ・ 倉庫におけるコンテナの開梱(実施14本/計画10本)
 - ・ 倉庫におけるコンテナ詰め(実施1本/計画3本)
 - ・ PWC洗浄施設における後送車両の点検及び洗車(1次洗浄4両、2次洗浄7両)
 - ・ 後送コンテナ受入(36本)
 - ・ ナビスタ通過支援
 - ・ 車両点検(後送輸送トレーラ)
 - ・ 別紙第2「後送業務隊活動状況」
 - クウェート分遣班
 - ・ 受入準備
 - ・ 10次群装備品検数
 - ・ 装備品回収準備
 - ・ 天幕準備
 - ・ 弾薬搬入支援
 - ・ ナビスタ回帰通過支援
 - ・ 現金給付、物件費支払い支援
 - ・ クールダウン申し送り
- ◎ バクダッドL/O
 - ・ 連絡調整及び情報収集
 - ・ 業務引継
- ◎ バスラL/O
 - ・ 情報要求対応及び定例情報収集
 - ・ 定例会議出席
 - ・ 航空輸送調整
- ◎ スミッテイルL/O
 - ・ 情報要求対応等
 - ・ 各種業務調整等
 - ・ 各種ミーティング等
- ◎ クウェート大使館L/O
 - ・ 連絡調整及び情報収集

進捗の進捗状況(7月9日)

区分	計画		実績 (d)	進捗度		残数	備考
	総数 (a)	当該日迄 (b)		総数比 (d/a)	計画比 (d/b)		
コンテナ詰 (弾薬除く、点数)	60,122	57,736	59,044 【1,321】	98%	102%	1,078	
後送	コンテナ	337	251 【36】	74%	100%	86	
	車両	203	107 【0】	53%	100%	96	

【 】内は、7月9日分の実績を示す。

採取の進捗状況(7月9日)

区分	計画		実績				進捗度		備考
	総数 (a)	当該日迄の完了数 (b)	サマーワからの受領数		準備完了数 (c)	残数	総数比 (c/a) (%)	計画比 (c/b) (%)	
			当日分	累積					
点数	451,553	1,924	0	90,607	819	89,788	0.18	42.6	
車両	287	62	0	104	62	104	21.6	100	

取付業務の実績(7月9日)

区分	業務内容
コンテナ作成	<p>12個コンテナ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 需品物品 : 2→2個()等) ● 通電物品 : 0→7個()等) ● 厚生物品 : 0→1個(シアターセット等) ● 衛生物品 : 2→2個()等)
輸送	<p>物品後送</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コンテナ×20個の後送 ● コンテナ×16個の積載及び後送(着地:タリル)

項目	進捗状況		評価	備考
復興支援活動の整理	35%		現在進行中	17件中6件終了
宿営地の整理	陸軍に対する細部移譲手続き及び明け渡し要領に関する調整を実施中		順調	本日S3・G3会同を実施し、警備要領について調整
物品の不要決定処置	95%	938/986	順調	破壊等により処置中
コンテナ詰め	98%	59,044/60,122	順調	
コンテナ輸送	74%	251/337	順調	
人員輸送	5.5%	32/579	順調	先行班:32名KWへ

6/27/11

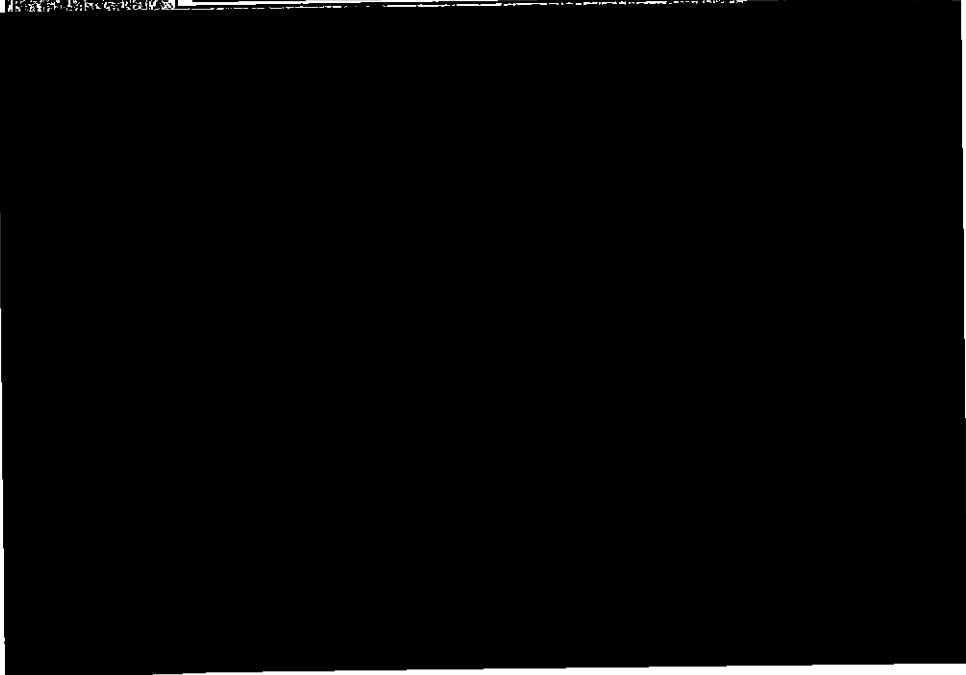
別表

適用期(2010年7月0日)

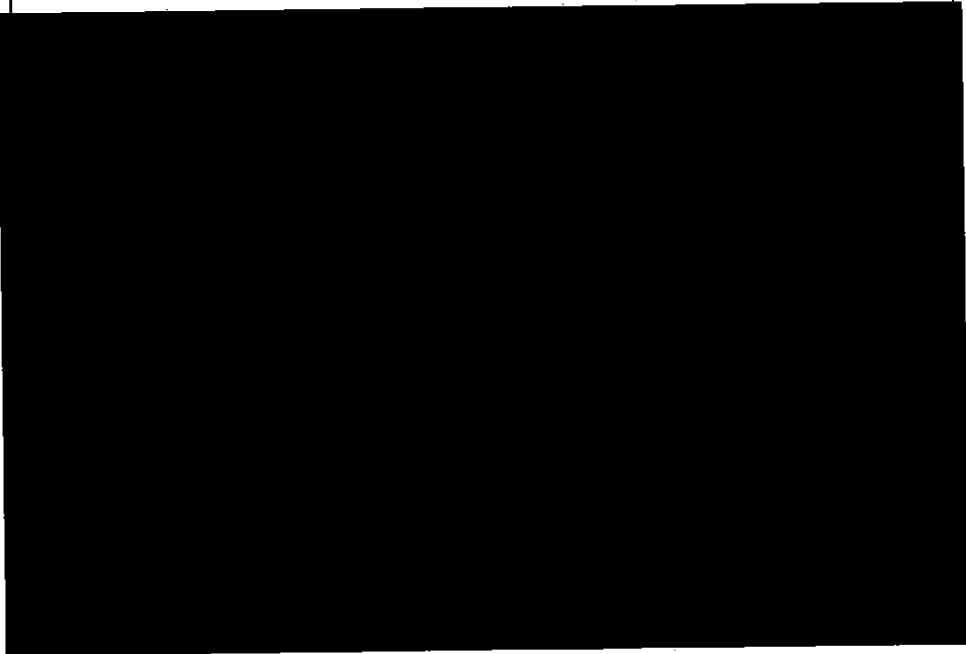
区分	人員数(名)	小計(名)	合計(名)	
宿営地外役務	医療	61	263	444
	学校修復	72		
	道路補修	37		
	給水関連	93		
宿営地内役務	通訳	63	181	
	警備	40		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	25		
	床屋	2		
	弁護士	2		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
調査員	8			
耐震性強化施設補修	20			
コンテナメンテナンス	5			

に対する間接射撃攻撃(7.7)-1

65



に対する間接射撃攻撃(7.7)-2



に対する間接射撃攻撃(7.7)-3

注意

【評価】

- 1 今回の間接射撃の発射地点であるサマーワ市東方付近は、一般に治安が悪く、サドル派民兵過激派等の勢力が犯行を実施する上では、比較的制約が少ない。
- 2 7月4日に県評議会に元警察官の集団が侵入し、県知事及び県治安当局に対する信頼性の低下を企図する行動が行われた後であり、への攻撃によって治安権限の移譲前に混乱を生起させ、移譲後の有利な態勢をとるために、サドル派民兵過激派等が実施した可能性
- 3 7月2日以来の射撃であり、に対する襲撃等が活発化する可能性。また、射撃は比較的明るい月夜に実施されており、この点からも攻撃が活発化している可能性。今後は、昼間を含めた間接射撃攻撃の発生に注意する必要
- 4 治安権限移譲前の攻撃という観点からは、間接射撃と同じく攻撃側の損害を回避しやすい簡易爆弾が有効な手段。サドル派民兵過激派等が活動を活発化させている可能性があるため、この点でもさらに警戒を厳にする必要
- 5 に加えて日本隊が標的となる可能性は否定できない。

金曜礼拝(7.7)-1

注意

【アル・サマーワ・モスク】

- 説法者:アワディ師(約2000名)
- 説法内容
 - サマラのゴールデンモスク再建のための寄付呼びかけ
 - イラク政府に対する生活環境早期改善要求
- ザルガニ師が礼拝に参加したが、説法は確認できなかった。

【アル・マフディ・モスク】

- 説法者:ザーメリ師(約200名)
- 説法内容
 - ゴールデンモスク修復に関するムクタダ・サドル師の署名・募金要請
(修復委員が2~3日後、サマーワ・サドル派事務所から出発する模様)
 - 7月7日午前中、サドルシティーで米軍・イラク軍とマフディー軍が衝突し、マフディー軍のうち10名が死亡し、5名が逮捕された。
 - サドルシティーで生じたテロに対する米軍批判

【アル・グレイブ・モスク】

- 説法者:モサウイ師(約1000名)
- 説法内容
 - ゴールデンモスク再建のための協力呼びかけ
 - ナジャフ県クーファ市での爆弾テロについて
 - ムクタダ・サドル師によるイラク全土のサドル派事務所3日間閉鎖(7月7~9日)について

金曜礼拝-2



【アル・メディーナ・モスク】

○説法者: アドナン師(約1000名)

○説法内容

- ゴールデンモスク再建のための寄付呼びかけ及び政府への対策要求
- ムサンナ県において近いうちに治安権限が多国籍軍からイラク政府に委譲されることを歓迎する。
- テロリストに関連して米国、クウェート、サウジアラビア及びシリアに対する批判
- サドルシティーでの爆破テロ批判
- 以前、多国籍軍にいつ撤収するのか尋ねたが、未だ回答はなく、破壊が続いており、イラク人が犠牲になっている。

【ムルタバ・モスク】

○説法者: アサディー師(約500名)

○説法内容

- ゴールデンモスク修復に関するムクタダ・サドル師の署名・募金要請について
- 7月7日午前中、サドルシティーで生じた米軍・イラク軍とマフディー軍の衝突について
- サドルシティーで生じたテロに対する多国籍軍批判

金曜礼拝-3



【マムラハ・モスク】

○説法者: フセイン・ハル師(約80名)

○説法内容等

- ゴールデンモスク再建のための寄付呼びかけ及び政府への対策要求
- 多国籍軍、特に米軍、英軍は、早期に撤退せよ。
- イラク政府に対する生活環境早期改善要求

【ファータマ・アッザハラ・モスク】

○説法者: アスアッド師(約100名)

○説法内容等

- ファータマ・アッザハラ等、宗教関連
- シーア派とスンニ派との間のトラブルを望まない。
- ハシシュ(大麻)を所持したイラン人が大量にイラク国内に流入しているので、政府は対策をとれ。

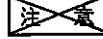
【アル・メリ・ベニン・モスク】

○説法者: ムハンマド師(約100名)

○説法内容

- ゴールデンモスクの修復に関するムクタダ・サドル師の署名・募金等の要請について
- 7月7日午前中、サドルシティーで生じた米軍・イラク軍とマフディー軍の衝突について
- サマーワ近郊のインフラ状況について、燃料や電気の事情が改善されていないので、政府は対策をとれ

金曜礼拝-4



【マル・ハッジヤ・ムンタバル・モスク】

○説法者:ムハンマド・アワブ師(約100名)

○説法内容等

- 7月7日午前中、サドルシティーで生じた米軍・イラク軍とマフディー軍の衝突について

【アル・ジャシール・モスク】

○説法者:カファジェイ師(約200名)

○説法内容

- アルジャシールモスクへの攻撃は、テロリストと米国が、シーア派とスンニ派間で紛争を起こさせるために仕組んだものである。

- 1 日本隊への直接的な非難や徹収に関する説法はなされなかった。
- 2 サマラのゴールデン・モスク再建が進まないことに対する不満と募金の呼びかけがなされた。これはサドル派がシーア派の宗教的な結束に訴えたとともに、その中心的存在として自らをアピールすることにより、今後の有利な態勢を占めようと企図している可能性がある。
- 3 燃料や電気事情に対する不満は、依然として述べられている。生活状況の改善を訴えるデモが発生する可能性は、引き続きある。

イラク全土の全般情勢評価(7.9)



(6月30日以降変更なし)

区分	内 容	備 考
全 般	1 バグダッド中心に北・西部において多国籍軍・イラク治安部隊に対する攻撃継続 2 政治的な対立、宗派間対立に起因するテロ、衝突等が継続 5月のマーリキー内閣成立以降も治安安定化の方向に進んでいるとは言い切れない。	6/23修正
スンニ過激派 国際テロリスト	1 当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安部隊・イラク政府)を継続(急激な過激化または衰退の兆候はなし) 2 アンサー・スンナとザルカウィ勢力の共闘が変化する可能性 3 ザルカウィ関連勢力の活動が変化する可能性 4 「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける 5 暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	6/23修正 6/8修正 6/8修正
サドル派	1 政治路線の継続。サドル派中央の意向に従う様に各地のサドル派民兵の再構築を企図	6/8修正
特記事項	1 市場等多数の人が集まる場を狙ったテロ	6/23修正

イラク南東部の全般情勢評価(7.9)		注意
(6月23日以降変更なし)		
区分	内容	備考
全般	1 バスラを除き比較的安定しているが、多国籍軍、イラク治安部隊等への攻撃が発生 2 ムサンナ県を含む南東部各県において簡易爆弾による攻撃が発生 3 バスラの不安定な治安情勢が継続する可能性 ・ シーア派とスンニ派間の宗派間対立が継続 ・ 多国籍師団(南東部)、イラク治安部隊が実施する治安維持作戦への反発から簡易爆弾、間接射撃による攻撃が継続する可能性	6/23修正 6/23修正 6/23修正
スンニ過激派 国際テロリスト	1 宗派間対立に起因するシーア派への攻撃を継続	6/23修正
サドル派	1 サドル派中央の意向に従わない過激派が存在 2 地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織との緊張が高まる可能性	6/23修正 1/14追加
MSR/ASR	1 簡易爆弾、小火器射撃、友軍相撃、カージャック、ロードスパイク等が発生 特に、撤収開始にともない移動部隊数が増大することにより、攻撃に遭遇する危険が増大する可能性	6/23修正
タリル 空軍基地	1 移動経路上の簡易爆弾、RPG、小火器射撃による攻撃、基地への間接射撃、航空機に対する対空攻撃が実施される可能性 特に、撤収開始にともない移動部隊数が増大することにより、攻撃に遭遇する危険が増大する可能性	6/23修正

ムサンナ県の全般情勢評価(7.9)-1		注意
(7月7日以降変更なし)		
区分	内容	備考
全般	1 比較的安定、しかしながら油断は出来ず 2 県の治安権限移譲に向けたマーリキー首相の発表、日本隊及び英豪軍の撤収の表明等を受けて、多国籍軍撤収後に向けた各勢力の動きが逐次活発化 3 イラク治安部隊の治安維持能力は逐次向上しており、県の治安権限移譲に向けてグリーンの評価を得ている。 4 簡易爆弾を用いた攻撃が比較的軽易に行われる可能性 - この際、爆発成形弾等の高度な技術を要する簡易爆弾に加えて、比較的短時間に設置できる簡易爆弾や旧式の簡易爆弾が使用される可能性 5 地方選挙を控える中、評議会メンバー等に対する攻撃(サドル派民兵による可能性がある)が継続し、これにイラクイスラム革命最高評議会(SCIRI)の要員が巻き込まれる場合、バドル組織とサドル派民兵との緊張が高まる可能性	7/7修正 6/8修正 6/27修正 7/1追加
スンニ過激派 国際テロリスト	1 スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、他地域で活動するために一時的に滞在する可能性	6/8修正
部族関連	1 日本隊または英豪軍撤収に対する不満や不安を持った部族関係者が存在する可能性	6/23修正
デモ関連	1 燃料、電力、雇用状況の根本的な改善を図ることは困難であり、また、治安権限移譲後の各派の主導権争いも絡んで、引き続きデモや暴動が発生する可能性は継続	7/7修正

ムサンナ県の全般情勢評価(7.9) - 2



(7月1日以降変更なし)

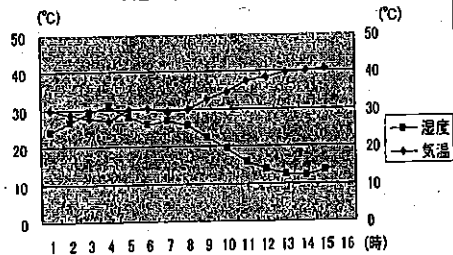
区 分	内 容	備 考
サドル派	1 地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織の緊張が高まる可能性 サドル派民兵は英軍撤退後の勢力伸長に備えて、治安権限移譲までの間、勢力の温存を図る可能性 (前半部分を全般の項に移項)	7/1修正
	2 5月13日に発生したサドル派民兵とイラク治安部隊との抗争に関連して、ナジャフのサドル派事務所中央は、サマーワサドル派事務所/サドル派民兵への統制の強化を図った模様。この動きに対して、ザルガニ師を中心とするサドル派民兵過激派は、勢力の盛り返しを企図し、多国籍軍等への攻撃やデモの組織化等を実施する可能性	6/4修正
	3 サドル派民兵過激派等により、宿営地外活動を実施中の部隊に対する随機の簡易爆弾、RPG、小火器による襲撃及び宿営地に対する間接射撃等が実施される可能性 この際、県知事公舎周辺等のサマーワ市中心部及びCooperative Zone(イエローゾーン)内とその周辺部は注意を要する。	6/23修正

現地の気象情報

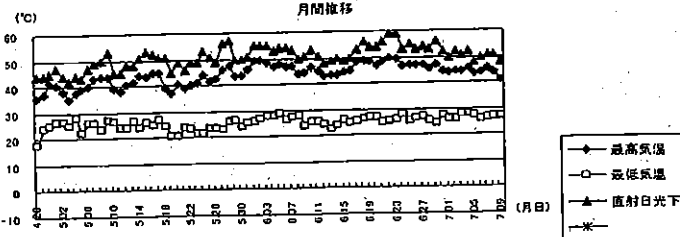
報告内容

明日の日の出 : 0602(サマータイム)
 明日の日の入 : 2007
 明日の月齢 : 14.6
 明日の月出没 : (出10日1955~没11日0444)
 本日の天候 : 晴れ
 本日の気温 : 最高40.9℃最低27.1℃
 : 最高48℃(直射日光下)
 本日の平均湿度 : 21.8%

気温・湿度推移(サマータイム)



月間推移



注意

クウェートの治安状況等(7月9日(日))

区分	内容	備考
クウェートの治安状況等	1 倉庫・宿泊場所等活動地域:異常なし。	N/C
	2 後送コンボイに与える影響 (1) MSRタンパ上、特にクウェートからタリル空港までの経路上、後送コンボイに対するIED攻撃の可能性がある、業者に警戒を促す必要がある。 (2) クウェート国内における後送コンボイに対する小火器による攻撃の可能性は否定できず、業者に注意を促す必要がある。	N/C
	3 クウェート国内での車両運行に及ぼす影響 交通事故は、ほぼ連日主要国道で発生している事から車両運行時、特に次の点に注意 (1) R6, R40, R80上の速度超過による追突事故、突発的な歩行者の横断 (2) 前方走行するトラックのバーストによるタイヤの飛来(7月以降は、道路の高温に加え、ほとんどのトラックは再生タイヤ着用のため、タイヤはバーストしやすい状況) (3) ロータリー交差点の進入・進出及び測道から本線への進入時 (4) 砂塵及び砂嵐発生時、視界不良。安全速度の厳守	N/C
	4 宿泊場所及び倉庫等での活動に及ぼす影響 クウェート全土で反米勢力がテロを敢行する可能性は排除できず、宿泊場所及びBKG倉庫等への移動時は警戒する必要がある。	N/C

注意

クウェートの治安状況等(7月9日(日))

区分	内容	備考
MSR・ASR等	1 MSR・ASR脅威情報 (クウェート所在民間警備会社及び 7/9現在) ①ASRジャクソン ②ASRポストン	N/C
	2 MSRタンパ これまでIED事案・カージャック等が毎月発生している点から、特にタリル空港周辺及びクウェートまでの南部地域の脅威度は高いという認識 (MSRタンパ事象掌握係幹部)	7/9追加
気象	1 天気:晴れ、風塵 2 気温 :1100現在の気温(直射日光下):50.1℃(昨日比-1.9℃) :0700現在の気温(直射日光下):41.1℃(昨日比-5.7℃) 3 今週は風塵が発生する可能性大 (1) 今週は風塵が発生する可能性は大であるが、11・12日は小康状態になると予想。12・13日はタリル地域で風塵が発生する可能性大である (アリアルサレム空軍基地 空白 気象班情報)	7/9更新
	(2) 陸自の撤収に及ぼす影響 ア 視界不良による後送コンボイの目的地への到着遅延及び到着後の作業遅延の恐れあり。 イ PWC洗浄施設における車両洗浄を遅延させる恐れあり。	N/C

18年7月10日(月)の活動予定

区分	業務内容
コンテナ作成	<p>1個コンテナ作成</p> <p>●通電物品：1個(野外電話機)</p>
輸送	<p>物品後送</p> <p>●コンテナ×36個の積載及び後送 (戦闘防弾チョッキ、XXXXXXXXXX、LAV組部品等)</p>









18年7月10日(月)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J1	群長の行動	0740 0750	執事長報告	
		0800 0810	群朝礼	
		0815 0830	デイリーミーティング(日作戦室)	
		0830 1100	宿営地内勤務	
		1100 1130	現地メディアとの懇談会 [出島応接コンテナ]	
		1130 1430	宿営地内勤務	
		1430 1445	12日J任務経路等について(仰指)	
		1445 1500	活動命令(案)について(仰決)	
		1500 1600	宿営地内勤務	
		1605 1635	作戦会議	

18年7月10日(日)の予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J2	業務支援隊長の行動	0745 0800	隊朝礼	
		0800 0810	群朝礼	
		0815 0830	デイリーミーティング 〔旧作戦室〕	
		0830 1100	宿営地内勤務	
		1100 1130	現地メディアとの懇談会 〔出島応接コンテナ〕	
		1130 1540	宿営地内勤務	
		1540 1600	CIMICミーティング	
		1605 1635	作戦会議	
		1635 1655	隊ミーティング	
		1930 2000	外務省との定例ミーティング	

18年7月10日(日)の予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J20	QRF			
S6☆	役務警備員配置	10日 1130～ 1930～ 11日 0530～	宿営地～運河警備位置～宿営地	
S11☆	警 衛		警 衛	
				
S12☆	浄水活動(運河)	0730～1000	大農送水システム点検・始動	LAV(HS)×1 LAV(G)×1

10年7月10日(日)の予定

コード	行動名	時程	活動内容等	車両
S13a	宿営地内工事、作業	0830~1600	宿営地散水	
S13b		0830~1600	ゴミ回収	
S13c		0830~1600	尿尿汲み取り	
S13d		0900~1600	Tレックス	
S13e		0900~1600	コンボイ作業	
S13f		0830~1600	環境維持作業	特大型(E)×1
S13g☆		0800~0900	Oゲート給油	大型(HS)×1
S15	群主力の行動	0800 0810	群朝礼	
		0810 1600	宿営地内活動	
		(0700~1600)	群統制(コンテナ作成、誘導)	
S16	空中監視活動	10日0830 ~	空中監視活動	
		11日0830		

10年7月10日(日)の予定

後送業務隊	クウェート分遣班	バックアップLO	バスラLO	スミッティLO	カート大使LO
<ul style="list-style-type: none"> CVにおける弾薬コンテナ卸下、軍需庫への搬入 倉庫におけるコンテナの開梱(計4日本) 倉庫におけるコンテナ詰め(計4本) PWC洗浄施設における後送車両の点検及び洗車(1次洗浄8両、2次洗浄4両) 後送コンテナ受入(36本) ナビスタ通過支援 車両点検(役務輸送トレーラ) 	<ul style="list-style-type: none"> CFLCC調整 10次群装備品検査 装備品回収準備 天幕準備 ナビスタ国境通過支援 ACSA支払い支援 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡調整 情報収集 COM/MHF-1 COAミーティング 基地群曹長ミーティング 業務引継 	<ul style="list-style-type: none"> 情報要求対応 定例情報収集 定例会議出席 航空輸送調整 	<ul style="list-style-type: none"> 情報要求対応 各種業務調整 各種ミーティング等 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡調整 情報収集



- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [Redacted]
- 群長指導事項
-特になし。

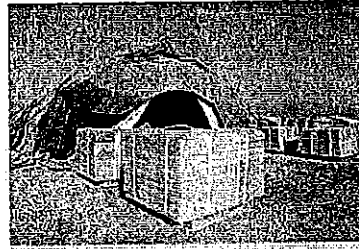


- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [Redacted]
- 群長指導事項
-最も重要なのは、クウェートまで安全に移動する事であるが、帰国後は、帰国報告、隊旗返還式等各種行事が予定されている。今回は、隊旗返還式まで時間が短いという特性があるので、先行的な幕僚活動を行い、計画的にやるべき事項を実施せよ。
-役務雇用者の要望等、逐次様々な問題が発生する可能性がある。アンテナを張っておき、特に我々の撤収に大きな影響を及ぼす事項については速やかに報告し、対処せよ。

撤収業務

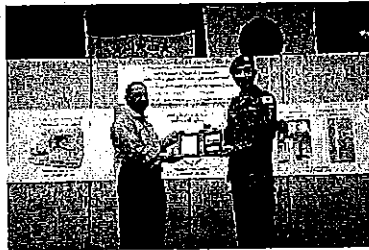


物流センターに荷物を運ぶ様子



物流センター前に並べられた後送物品

群長、ODA供与機材技術指導行事参加

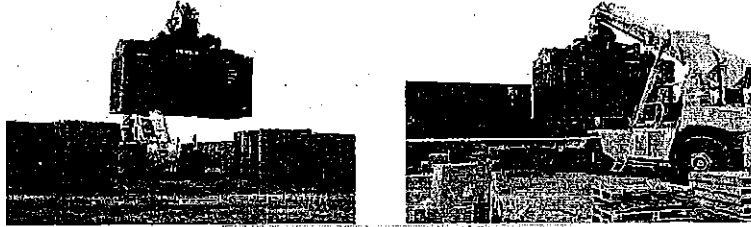


サマーワ総合病院院長に記念品を渡す群長



イラク人病院関係者に説明を行う医務官

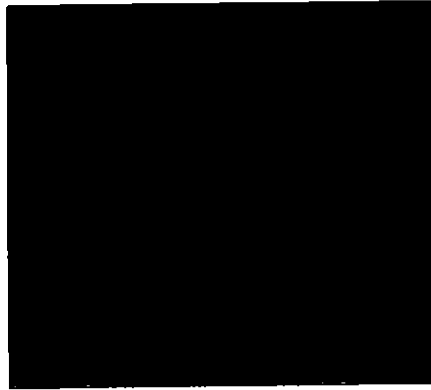
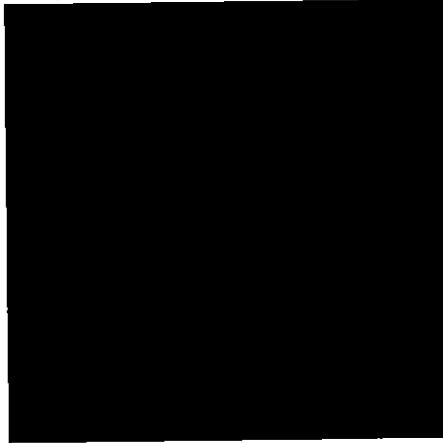
後送業務隊活動状況



サマーワにおける砲薬コンテナ積載の様子

区分	内 容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [REDACTED]、バグダッド及びモスルは [REDACTED]、ラマディは [REDACTED]
2 特記事項	[REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) 業務引継
4 明日の予定	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) COA/ANF-I COAミーティング (3) 基地群書長ミーティング (4) 業務引継
5 その他(備考)	

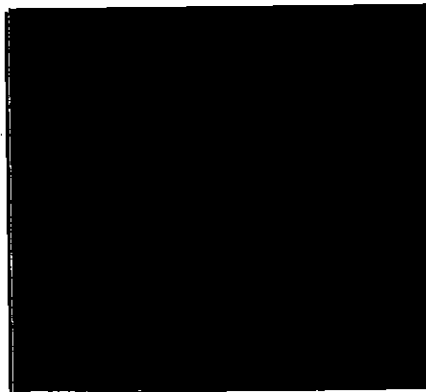
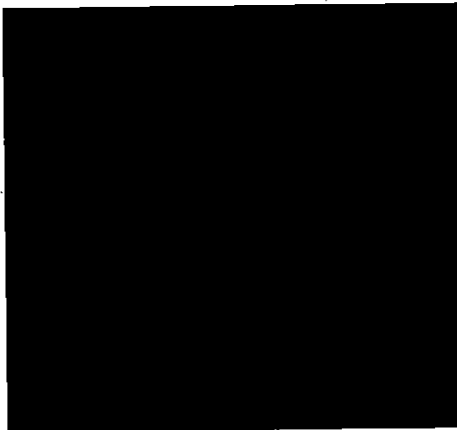
7月9日付JAM情報最新版(仮訳)



評価:



JAM Update: 09 July



Assessment:



バグダッド日誌(7月9日)

○1次空自バグダッド連絡班(6次バグダッド連絡班?)到着

昨日1次空自バグダッド連絡班が到着した。英軍C-130から米軍C-130に飛行便が変更となり、色々苦勞もあったが、なんとか予定通り受け入れることができた。非常に暑い中での移動で大変であったと思うが、[REDACTED]以下5名と無事お会いでき大変嬉しく思った。

今思い返すと、我々が到着した6ヶ月前のことを走馬灯のように思い出すことが出来る。

我々が到着した1月は寒く、また大雨の降った後であった。バグダッド空港に到着した夕刻、手違いのため日本隊の出迎えに会えず、約1時間とても心細い思いをして、すでに暗くなった軍用ターミナル内を探し回った。またキャンプ・ヴィクトリー再編中で宿泊が天幕であったため、寒さの中、泥の上での生活であった。更に天幕は帰国待ちの米陸軍大佐一行と同じ部屋であり、当初ナイト・シフト勤務の[REDACTED]は日中、眠るに眠れず、今思うと申し受け期間が一番つらかったと述懐している。またIDの発行等に時間を要したため、KBR(米軍の支援をする民間会社)の洗濯サービスを使用できず、約10日間の申し送り期間中、下着を替えることもままならず「着た切り雀」で苦勞したことを思い出した。

今回受け入れにあたり、我々が苦勞したことをなるべく改善しようと、宿泊コンテナを確保し、またIDもすぐに発行できるようにタンパLO[REDACTED]には多大なご支援を頂いた。

1次空自バグダッド連絡班は、クウェートでの慣熟期間がほとんどなく、灼熱の炎天下心細く思っていると思う。1次空自バグダッド連絡班が良いスタートを切るできるよう、バグダッド連絡班一致団結して努力している。

[REDACTED]

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [REDACTED] [REDACTED] (警戒態勢) : [REDACTED]
2 特記事項	(1) [REDACTED] (2) [REDACTED] [REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : [REDACTED] (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9 露機統一会議 (4) 航空輸送調整等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) 航空輸送調整等
5 その他(備考)	

MND-SE管内の状況



スミッティLO日々業務報告(7月9日)



区分	内容
1 警戒態勢等	変化なし: Threat Level
2 特記事項	特になし
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワ市内等の治安情勢、デモ情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 JIRSG撤収関連、明日以降の豪軍支援要請関連、整備関連等 (3) 各種ミーティング等 英・豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 なし

クウェート分遣班業務報告

18. 7. 9

全 般	
<input type="checkbox"/> 国内情勢等： <input type="checkbox"/> 人員・武器等：異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告：所属人員23名、事故人員0名、現在員23名	<input type="checkbox"/> 天候：晴れ <input type="checkbox"/> 気温：0700 36℃(41℃) 1100 44℃(50℃) ()は直射日光
本日の行動	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> 受入準備 <input type="checkbox"/> 10次群装備品検数 <input type="checkbox"/> 装備品回収準備 <input type="checkbox"/> 天幕準備	<input type="checkbox"/> 弾薬搬入支援 <input type="checkbox"/> ナビスタ国境通過支援 <input type="checkbox"/> 現金廻替、物件費支払い支援 <input type="checkbox"/> クールダウン申し送り
明日の予定	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> CFLCC調整 <input type="checkbox"/> 10次群装備品検数 <input type="checkbox"/> 装備品回収準備 <input type="checkbox"/> 天幕準備	<input type="checkbox"/> ナビスタ国境通過支援 <input type="checkbox"/> ACSA支払い支援
その他	
なし	

クウェートLO日々業務報告(7月9日1900)

区分	内 容	
警戒態勢等	警戒レベル 国内にテロ情報無し。 日本国外務省渡航安全情報(危険情報)：クウェート全土「十分注意」(N/C)	
特記事項	なし	
本日の業務	大 使 館	CFLCC
	1 連絡調整等 (1) 広報サレム立入に関する調整 (2) 意見交換会日程調整 2 情報収集 情報資料 2件	連絡調整等
明日の予定	1 連絡調整等 2 情報収集	
その他	なし	